

# 「令和3年度実績」概要

## 1. 総合戦略概要

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少や少子高齢化、それに伴う社会経済活動の縮小といった問題に、国と地方が一体となって取り組むために、策定した計画です。

総合戦略は、5つの基本目標からなっており、目標ごとに、「数値目標」が2つと、「KPI」という指標をいくつか設定しています。数値目標は、各事業が実施されたことで社会がどう変わったかという「成果」を示しているのに対し、KPIは「個々の事業の活動量」を示しているものです。本計画の第1期は平成27年度から令和元年度までで終了し、令和2年度に総括を行いました。令和2年度から第2期がはじまり、令和6年度までの5年間を計画期間としています。

今回は、第2期総合戦略の令和3年度の進捗状況報告となります。

## 2. 資料2の見方



実績値が前年度よりも後退したもの、または変化の激しいものについて、事業担当課で原因が把握できる場合は、備考欄に記載がございます。

### 3. 議題1 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組む事業の進捗状況等について」 の概要

#### (はじめに)

今回は、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタートしてから2回目の会議となります。計画に基づく事業について、令和3年度の実績をまとめたものを報告いたしますので、どういった成果が表れているのか、その効果の検証を行っていただきます。

まず「資料1」は、各事業の数値目標及び KPI をまとめたものとなり、「資料2」は、グラフおよび進捗率を加えた詳しい資料となります。

#### (資料2について)

数値目標と KPI、合わせて「52」のグラフがありますが、目安の線どおり、あるいは線を越えた実績のグラフは「27」、目安を下回ったグラフは「25」で、コロナ禍が続き、思うように実績が伸びなかった事業が多くございました。

【人口に関する実績】 コロナの影響もあり、出生数、転入者数ともに更に減少傾向となっております。出生率は全国的にも下がる傾向ですが、こうしたなかでも、県内ですと大府市など、比較的高い値のところもありますので、そういった自治体の情報を収集し、参考にするなどして対策を講じていきます。

【イベントや教室等、コロナの影響を受けやすい事業】 目標値の目安を下回る結果となっておりますが、そのなかでも、令和2年度の結果を踏まえ、イベント等を単に中止とせず、感染対策を行ったうえで工夫して実施し、その効果が現れている事業もございました。

【コロナ禍でも順調な事業】 基本目標1の「子育て支援アプリのダウンロード数」や基本目標3の「観光協会ウェブサイトアクセス件数」等は、順調に件数が伸びてきております。デジタル化が進むなか、こういったアプリやウェブサイトの活用については、いっそう強化するよう努めてまいります。基本目標3の「いちのみや応援寄附金の寄附件数」については、ふるさと納税市場の広がりもあり、また、市としても新たに返礼品を加え、令和3年度には大幅に寄附件数が増加しています。返礼品の数としましては、令和2年に120品目だったものを、令和3年度末には250品目まで増やしております。

【その他特記事項】 基本目標1の「放課後児童クラブの待機児童数」が、令和4年5月現在、ついに0人となりました。また、基本目標2の「建築規制緩和の適用による建築件数」は令和2年度までは0件が続いておりましたが、これは事業が完了してようやく件数として記載するためであり、この度、建築中の事業が令和3年度に完了し、1件となりました。

## (まとめ)

今後は、社会情勢に即した対応とするため、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えつつ、目標値に向けて更なる工夫を凝らし事業を実施していくよう努めてまいります。

昨年、目標値や事業の変更を検討いたしましたが、目標値はあくまで5年間の成果であること、数字の変化が新型コロナウイルスによる影響のみののか、他の要因の影響は無かったかの判別ができないことなどを考慮し、引き続き変更しないことといたしました。

以上、令和3年度の進捗状況について、各指標の数値をご参考としていただき、総合戦略に掲げる目標を達成するため、または、より一層、効果を上げるためはどうしたらよいかなどの、ご意見を頂戴したいと考えております。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。